

STT057-P02

会場: コンベンションホール

時間: 5月24日 16:15-18:45

干渉 SAR と水準測量を利用した地盤沈下監視 Monitoring the subsidence by InSAR and leveling survey

野口 優子^{1*}, 鈴木 啓¹, 唐沢 正夫¹

Yuko Noguchi^{1*}, Akira Suzuki¹, Masao Karasawa¹

¹ 国土交通省国土地理院

¹ GSI of Japan

地盤沈下の発生状況を把握する手段として実施されているのが、国及び地方公共団体による水準測量である。平成 21 年度には地盤沈下監視のための水準測量が 22 都道府県 32 地域で実施された。1) 国土地理院測地部宇宙測地課においては、地盤沈下監視を目的の一つとして、陸域観測技術衛星「だいち」(ALOS) に搭載されている PALSAR の観測データを用いて、SAR 干渉解析を定常的に実施している。

本発表では、複数年に渡り年間最大 2 cm 以上の地盤沈下が起きている九十九里平野に着目し、千葉県が実施した水準測量の結果と SAR 解析結果の比較を行い、地盤沈下監視の展望について報告する。

1) 環境省 (2010): 平成 21 年度 全国の地盤沈下地域の概況、

<http://www.env.go.jp/press/press.php?serial=13187>

謝辞: ここで使用した「だいち」の PALSAR データの所有権は宇宙航空研究開発機構及び経済産業省にあります。

キーワード: 干渉 SAR, 地盤沈下, ALOS/PALSAR, 水準測量

Keywords: ALOS/PALSAR